

が、医療機関からの報告件数は2,000に満たないようで、その少なさには驚きます。臨床現場の医師に情報報告の義務があってしかるべきではありませんか。

アイデアフォーは、そのような医師からの情報、また、第3者機関が患者からの情報も随時收拾し、検証し、採用するシステムが欲しい、とたびたび訴えてきました。このセミナーがそのようなシステム作りに実を結ぶことを期待しています。公の「患者用説明文書」の配布は出来るだけ急いで欲しいのです。既にかなり詳しい説明書付きで投薬しているところがあったり、無かったり、それぞれの機関で内容が異なるのは不公平です。また配布を徹底するためには法制化が必要と考えます。法的裏付けが無いと、採用を渋る医療機関が多いのではないかと心配です。

アメリカでは、説明文書義務化に反対の動きがあると聞いています。情報公開が常識のアメリカでは、義務化は「係争の日常化」につながるの危惧も理解できますが、わが国では情報公開を習慣づけるためには法制化が必須です。

また、説明文書義務化により、日本だけで認可されているような意味のない薬が淘汰されることを期待しています。今までも患者は、かなり不必要な薬が多いのではないかと感じていて、飲まなかったり、捨てたりしているのが現状です。不要な薬を無くし、その分の医療費を、インフォームドコンセントなど本来のプロフェッショナルサービスに使った時間や手間に当てて欲しいと思います。

患者にとって同等の医療従事者

最後に、患者にとっては、医者、看護婦、薬剤師、医療技師、コメディを含めて、医療に携わり、患者を助けてくれる人たちはすべて同等であるということをお願いしたいと思います。医療従事者のあいだに上下関係があり、患者ではなく、上位のものの顔色を見て医療をしている人たちが居ると感じられることが多々あります。大変残念なことです。常に患者に視線を当てた医療を心がけていただくことを望んでやみません。

(6)情報提供への第一歩

あなみせつこ
阿南節子



市立堺病院薬剤師

市立堺病院には院内感染防止委員会があり、その実働部隊として、ICTとHIV対策チームがあり、さまざまな活動を行っています。

はじめに

わたくしの病院の規模ですが、外来の処方箋は1日約1000枚あります。外来患者さんの数は1日1200から1500人くらいです。入院患者さんには一応全員に薬の説明をしております。服薬指導という言い方がありますが、わたくしはあまり好きではないので、お薬の説明と言わせていただきます。

2年前からは、TIP誌の薬のガイドを用いて入院患者さんに説明をしております。今年(1997年)4月に薬剤師法が改正になって、外来患者さんに薬の説明をするようになったのですが、以前、当院では外来患者さんへの薬の説明ということはあまり考えていませんでした。たまたま昨年10月の新病院への移転に合わせて外来の患者さんも対象にして薬の説明をしようということになりました。病院のSLEとかリウマチの患者さんの会に呼ばれて薬についての話をするんですが、そこで患者さんたちが、「自分の飲んでいる薬が分からない」と言って錠剤などを持って来られるんですね。何とか外来患者さんにも少しでも薬の情報を提供したいとずっと思っていましたから、ちょうど処方オーダー・システムの中で出来ないかと考えたわけです。

薬控え…メモ

昨年5月には、移転に合わせて、処方オーダー・システムと連動させて、説明書を出力するシステムを作ることに決めました。オーダー端

末からドクターが他のオーダーとともに、処方箋のオーダーもします。オーダーされた処方箋にはさまざまチェックが掛けられます。たとえば禁忌、用量、処方日数とかです。そのデータが薬局に来まして、さまざまな機械に振り分けます。大きいプリンターがあるのですが、このプリンターで、処方箋と薬袋と「薬控え」と呼んでいる情報提供箋(図-1)とを同時に出力しています。「薬控え」というのは、「薬の説明書」というレベルにまではっていない「薬のメモ」

薬袋 No.	薬品名	薬の記号	用法	1回の服用量
1. フランドル錠 (20mg) *611 1日2回 朝・夕食後 1錠				
【薬の働き】 狭心症の発作の予防に用いる薬です。				
【注意事項】 頭痛がおこることがあります。ひどい場合は医師に相談してください。				
動悸、胸のぼたつき、腰痛などが起こることがあります。ひどい場合は医師に相談してください。				
ザイロリック錠 (100mg) WELLCOME14 2錠				
【薬の働き】 尿酸の生成をおさえる薬です。				
【注意事項】 水制限のない人は水を十分に飲んでください。				
ラシックス錠 (60mg) DL5 1錠				
【薬の働き】 利尿剤です。				
【注意事項】 利尿作用があり腫脹の妨げになるので服前の服用は避けてください。				
2. カプトリル錠 (12.5mg) SANKYO0275 1日3回 毎食後 1錠				
【薬の働き】 血管をひろげて血圧をさげる薬です。				
【注意事項】 から球が現れることがあります。ひどい場合は医師に相談してください。				
呼吸困難を伴うのど・顔面・舌の腫れがあらわれた場合はすぐ医師に報告してください。				
パナルジン錠 (100mg) *613 1錠				
【薬の働き】 血液が固まるのを予防・治療する薬です。				
【注意事項】 発熱、のどの痛み、眼や皮膚の黄染、褐色尿などの症状が現れたら医師に報告してください。				

以下余白

★「おくすり控え」で不明な点は、薬剤師におたずねください。
 ★お薬を使用してなにか変わったことがあれば、医師または薬剤師におたずねください。
 ★この「おくすり控え」は、保管して他の医療機関におかきになる場合などにご利用ください。

市立堺病院 ☎ 0722-21-1700

図-1

患者への情報提供の今後の課題 (J)

